

英作文が簡単に

徳島大学教授 開発に着手 来春の商品化を目指す

徳島大学工学部の任福^{たけちか} 継教授は26日、人工知能を利用し、簡単に英作文を作るパソコンソフトの開発に着手したことを明らかにした。ベンチャー企業などと連携し、来年3月の商品化を目指す。

日本語の文章から逐語的に翻訳する従来型と違い、ユーザーは「ビジネス文書」「謝辞」など書きたい内容のキーワードをキーボードから入力する。人工知能がキーワードからユーザーの意図を類

推し、膨大な例文集から適当な文例を検索。検索された文章は、画面左半分は日本語で右半分は英語の対訳で表示される。次に、ユーザーはその例文を手直しする。日本語側を直せば、画面右の英語文もそれに伴い自動的に変化し、簡単に英作文が作成できる仕組みだ。

任教授は「国際化が進む中、英作文の重要性は増している。このソフトを使えば、誰でもネイティブに近い英語表現が可能になるはず」と言う。

【中村敦茂】